

審査基準表

審査項目		審査基準	配点
1 全体事項			
1-1	事業目的の理解	事業目的の正しい理解に基づいた提案となっているか。	25
1-2	検討すべき事項の理解	検討すべき事項の内容を網羅した提案となっているか。	
2 必須事項			
2-1	現状調査・課題分析	・ 情報収集を効果的、効率的に行う工夫があるか。 ・ 本県との役割分担が適切に示されているか。	115
2-2	市場調査	・ 調査を効果的に進めるための工夫が妥当なものか。 ・ 調査方法、照会方法について適切に示されているか。	
2-3	対応方針策定	・ 対応方針策定のためのポイントが具体的かつ的確に示されているか。 ・ 対応方針の決定に当たって、本県の判断を支援する内容となっているか。	
2-4	仕様策定	・ 要件定義の要素が具体的かつ的確に示されているか。 ・ 公平性かつ実現可能性の高い仕様を策定するためのポイントが具体的かつ的確に示されているか。	
2-5	RFI（情報提供依頼）支援	・ RFI実施のポイントと結果を仕様書等に反映する際の留意点が整理されているか。 ・ RFI支援において具体的な支援内容が示されているか。	
2-6	システム移行支援	・ 次期システムへの移行計画の立案方法が現実的且つ具体的に示されているか。 ・ 移行リスクに対して対策方法が示されているか。	
2-7	概算費用積算	・ 概算費用積算に当たって具体的な進め方が記載されているか。 ・ 経費積算の精度を上げる工夫があるか。	
3 実施体制等			
3-1	業務の実施体制	柔軟性や即応性を有した現実的な業務実施体制が提案されているか。	50
3-2	事業実施に必要な専門知識や情報	当該事業を実施するために必要な専門的知識や情報・知見を有しているか。責任者・作業員は、類似実績・望ましい資格を有しているか。	
3-3	作業スケジュール	進行管理に関する適切な提案がなされているか。	
3-4	類似業務の実績等	過去に類似する業務の実績を有しているか。	
技術点合計			
			190

見積金額による価格点

審査項目	審査基準	配点
本業務にかかる見積金額について	【（1－見積金額／上限金額）×10】	10

技術点と価格点の合計		
		200